

優秀賞

CO₂ の排出量を測定し、競うゲーム

渡邊 一史（会社員：愛知県）

CO₂ の排出量を測定し、競うゲーム

「二酸化炭素は環境に良くないから減らす必要がある」という事実は子供でも知っていることです。しかし、「普段の行動でどれくらいCO₂が減るのか？」これは大人である私も実は理解出来ていないことに気づきました。

CO₂ の実際の量が分からず、減らした量も分からないことを子供たちに強いるのもおかしな話です。普段の生活でどれだけCO₂を消費しているかの実感がないと、本当の意味で環境意識は浸透しないと考えます。

身近な環境への意識を聞かれた時、多くの人が”スーパーに行く際にマイバックを持参しています”と答えると思います。実際効果が少ない取り組みであっても、実感できるものがそれくらいしかない現状を変えることが、これからの日本の課題なのではないでしょうか。

そこで二酸化炭素の排出量を競うゲームを考えました。普段の買い物情報・通勤方法（位置情報）を登録することで、例えば、車通勤から電車通勤に変えるとCO₂がどれだけ減ったか？等の可視化が出来ると考えました。

遠くない未来で、買い物情報や位置情報の履歴を全てスマホで確認出来る時代が来ると思います。その時に自分のCO₂排出量を競うゲームがあれば、皆の意識が大きく変わると思います。

燃費の良い車に乗る。電気自動車に乗り換える。環境に配慮した会社で働く。過剰包装された商品を買わない。作られるCO₂の少ない食品を買う。無駄な電気を消す。身の回りの行動の変化で、CO₂排出量の変化が分かるようになると、行動が変わるはずで、豚肉を他の大豆などのたんぱく質に変えると、CO₂排出量が減る等、普段意識しないことも分かるようになります。

子供たちに胸を張って、”CO₂を減らすように”と言える時代になると嬉しいです。